



株主通信

平成28年3月期第2四半期報告書
平成27年4月1日～平成27年9月30日

理想科学工業株式会社



株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに平成28年3月期第2四半期の株主通信をお届けします。

当社グループは、第五次中期経営計画「RISO Vision 16」最終年の当期、引き続き経営目標「全世界での販路拡充と新規顧客の獲得」に取り組んでおります。

当上半期は、インクジェット事業が堅調に推移したことから、為替の円安影響により売上高は前年同期を上回りました。インクジェットの消耗品販売が順調に推移しており売上総利益の増加に寄与しました。しかしながら、販売費及び一般管理費が研究開発費を中心に増加したことで、営業利益は前年同期を下回りました。

販売面では4月にシンガポール、9月にトルコにそれぞれ販売子会社を設立しました。また、中国では景気減速が懸念される中、当社は高速カラープリンター「オルフィス」の新規販路を増やし販売を伸ばしております。今後も独自の強みを持つ当社製品の販路を国内外に拡げ本体の新規設置を進めてまいります。

株主の皆様には今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月
代表取締役社長
羽山 明

第五次中期経営計画 RISO Vision 16

(平成25年4月1日～平成28年3月31日)

経営目標

個の発想と実行力によって企業活動を活性化し、
全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を実行する

数値目標

連結売上高: 860億円

連結営業利益: 70億円

ROE: 7%

(※前提とする為替レート:
1米ドル90円、1ユーロ116円)

重点項目

- (1) 海外の販売企画を強化し、事業の拡大を図る
- (2) インクジェット事業の販路拡大と充実を図り、新規ハード設置を増やす
- (3) 孔版事業の顧客管理を強化し収益基盤を維持する
- (4) 将来をにらみ新たな生産体制をつくる
- (5) 新規事業創出に挑戦する
- (6) 事業参画意識を高め、常にチャレンジする社風をつくる

平成28年3月期経営方針

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

- (1) 全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を推進する
- (2) 重点地域の販売を強化し、海外事業を加速する
- (3) 次世代を担う製品開発を実行する
- (4) 新たな生産体制づくりを継続する
- (5) 人材の育成に主眼を置き、「経営能力のあるリーダー」を育てる



事業概況(連結)

当第2四半期累計の業績概況

**インクジェット事業が堅調に推移、
円安影響もあり増収。営業利益は減益**

当社グループは、全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を実行することを中期的な経営方針に掲げて運営しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、印刷機器事業において第1四半期に引き続きインクジェット事業が堅調に推移したこと、為替の円安影響により全体の売上は増加しました。営業利益は販売費及び一般管理費の増加により前年を下回りました。売上高は407億8千5百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は27億3千8百万円(同4.7%減)、経常利益は26億9千9百万円(同12.1%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は18億4千9百万円(同16.5%減)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、1米ドル121.80円(前年同期比18.76円の円安)、1ユーロ135.07円(同3.85円の円高)となりました。

通期の見通し

**インクジェット事業で販売を伸ばし、
通期で増収・増益を目指す**

当社グループの印刷機器事業におきましては、孔版事業では今後も減少傾向が続くものと予想されますが、インクジェット事業において米州、アジアでの販売が堅調に推移し、通期の売上は前年を上回る見込みです。それに伴い営業利益も増益となる見込みです。

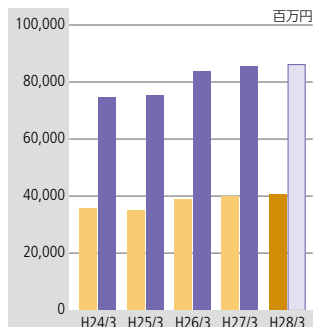
通期の売上は861億円(前期比0.5%増)を見込んでいます。営業利益は73億7千万円(同7.8%増)、経常利益は73億4千万円(同4.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は48億1千万円(同14.5%減)を見込んでいます。

なお、通期業績見通しにおける為替レートは、1米ドル120円、1ユーロ134円を予定しております。

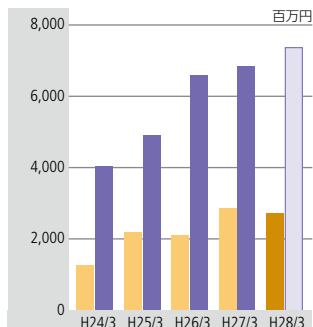
(注)記載金額は、表示金額未滿を切り捨てて表示しております。

連結業績ハイライト

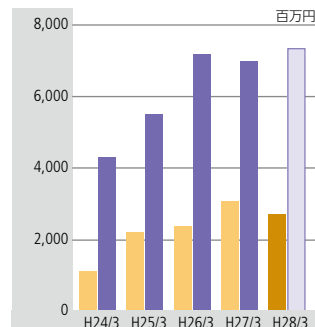
売上高



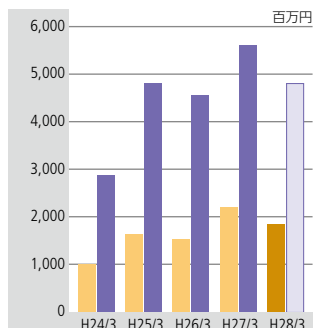
営業利益



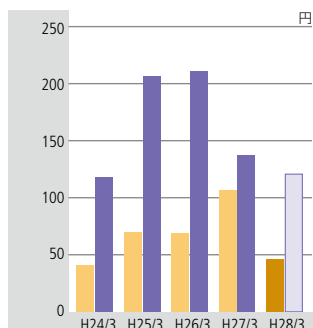
経常利益



親会社株主に帰属する
当期(四半期)純利益



1株当たり当期(四半期)純利益



凡例

- 第2四半期累計
- 通期
- 通期見込

		平成24年3月期		平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期		平成28年3月期	
		第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期見込
売上高	(百万円)	35,944	74,847	35,268	75,455	39,057	83,938	40,107	85,674	40,785	86,100
営業利益	(百万円)	1,276	4,050	2,203	4,910	2,119	6,588	2,872	6,839	2,738	7,370
経常利益	(百万円)	1,095	4,309	2,191	5,512	2,355	7,192	3,072	6,999	2,699	7,340
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	(百万円)	1,010	2,886	1,644	4,827	1,542	4,578	2,214	5,624	1,849	4,810
1株当たり当期(四半期) 純利益	(円)	40.39	117.40	69.66	205.80	69.11	210.13	106.31	136.99	46.20	120.56

(注1)平成27年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合を持って分割いたしました。

(注2)「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。



財務諸表の概要(連結)

貸借対照表

(資産の部)

(単位:百万円)

科 目	前期末	当第2四半期末
	平成27年3月31日	平成27年9月30日
流動資産	51,988	47,409
現金及び預金	14,074	14,211
受取手形及び売掛金	15,877	13,231
有価証券	5,120	3,921
たな卸資産	12,763	11,822
その他	4,488	4,519
貸倒引当金	△ 335	△ 296
固定資産	42,350	42,906
有形固定資産	32,790	33,941
建物及び構築物	9,967	9,667
機械装置及び運搬具	980	1,255
土地	17,031	17,003
その他	4,810	6,014
無形固定資産	3,299	3,036
のれん	9	92
ソフトウェア	1,965	1,773
その他	1,324	1,170
投資その他の資産	6,260	5,928
投資有価証券	2,260	2,261
その他	4,050	3,716
貸倒引当金	△ 51	△ 49
資産合計	94,338	90,315

(注)当第2四半期の有形固定資産の減価償却累計額38,996百万円

(負債の部)

(単位:百万円)

科 目	前期末	当第2四半期末
	平成27年3月31日	平成27年9月30日
流動負債	22,682	20,982
支払手形及び買掛金	10,323	9,039
短期借入金	2,586	2,221
一年内返済予定の長期借入金	2	1
その他	9,770	9,719
固定負債	2,709	2,185
長期借入金	27	19
退職給付に係る負債	2,277	1,659
その他	404	506
負債合計	25,392	23,167

(純資産の部)

(単位:百万円)

科 目	前期末	当第2四半期末
	平成27年3月31日	平成27年9月30日
株主資本	67,255	65,789
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	46,837	46,870
●自己株式	△ 8,475	△ 9,975
その他の包括利益累計額	1,690	1,358
その他有価証券評価差額金	629	663
為替換算調整勘定	1,114	754
退職給付に係る調整累計額	△ 53	△ 59
純資産合計	68,946	67,148
負債純資産合計	94,338	90,315

POINT① 自己株式

当上半期は62万4千株(14億9千9百万円)の自己株式を取得しました。

(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計	当第2四半期累計
	平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
売上高	40,107	40,785
印刷機器事業	39,388	40,100
日本	22,442	22,419
米州	2,780	3,227
欧州	8,433	7,609
アジア	5,731	6,844
不動産その他事業	718	685
売上原価	16,737	16,879
売上総利益	23,369	23,906
販売費及び一般管理費	20,497	21,168
営業利益	2,872	2,738
営業外収益	260	211
営業外費用	60	250
経常利益	3,072	2,699
特別利益	33	243
特別損失	59	—
税金等調整前四半期純利益	3,046	2,943
法人税等	832	1,093
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,214	1,849

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計	当第2四半期累計
	平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,006	3,997
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 86	△ 1,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,667	△ 3,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	248	△ 77
現金及び現金同等物の増減額	1,500	△ 769
現金及び現金同等物の期首残高	14,580	18,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,081	17,357

POINT② 売上高

前期に比べ売上が6億7千8百万円増加しました。
為替影響額は11億6千9百万円でした。

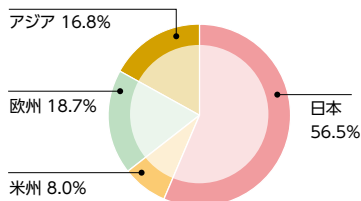
POINT③ 販売費及び 一般管理費

前期に比べ6億7千万円増加しました。要因は研究
開発費の増加、為替影響によるものです。

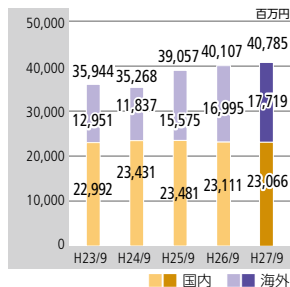
POINT④ 投資活動による キャッシュ・フロー

シンガポール及びトルコ子会社の設立に伴う事業
譲り受け等により支出が増加しました。

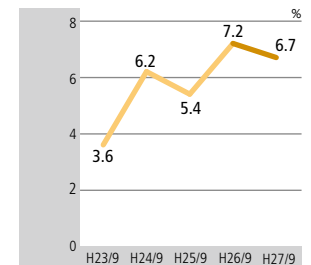
地域別売上高比率(当第2四半期累計)



国内・海外売上高(第2四半期累計)



売上高営業利益率(第2四半期累計)





RISOの アフターサービス

理想科学には、製品をいつでも便利に安心して利用いただくためのサポート体制があります。

今回は、お客様にとって最初の接点となるRISOコンタクトセンターと、お客様のもとに出向き迅速で適切な対応をするカスタマーエンジニア(CE)によるアフターサービスを紹介します。

快適なプリント環境を提供するために

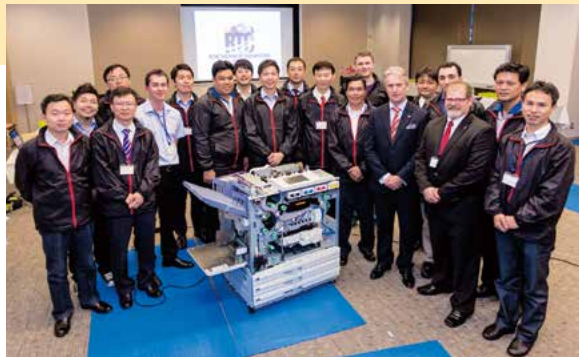
当社ではメンテナンスの受付から使い方サポート、消耗品の受注などの業務をRISOコンタクトセンターで集約して行っています。お客様の使用状況やメンテナンス履歴を専用データベースで素早くチェックし、必要に応じてCEが迅速に訪問できるよう手配します。CEは機器をすばやく確実に修理するだけでなく、お客様のニーズを的確に把握し、新たな提案も行います。

また、お客様からの声は開発部門とも共有し、製品開発に役立てられています。これは開発・製造から販売・サポートまでを一括で手掛ける当社ならではの強みと言えます。

頼れるパートナーとして

CEには高度な技術力だけでなく、専門知識や高いコミュニケーション能力も必要とされるため、機種ごとにきめ細やかな研修を行い技術を習得するほか、常にお客様の声に耳を傾けています。また、高い技術レベルを維持すべく、学科試験は毎年、技術試験は2年に一度実施。CEを対象とした技術コンテスト「RISO TECHNICAL CHAMPIONSHIP」を毎年開催し、全国の予選を勝ち抜いた真のプロフェッショナルが技術と知識を競います。同様の取り組みは海外でも2年に一度実施。技術力の維持・向上に努めています。

こうした優れたCEの存在が、お客様と当社の信頼関係の構築には欠かせないものとなっています。



「RISO Technical Competition」の世界大会を勝ち抜いたCE達



RISOコンタクトセンター



海外で開催した研修の様子

本年2月に沖縄県名護市の万国津梁館で開催した「RISO TECHNICAL CHAMPIONSHIP 2015」には販売店社員約1,200人がエントリー。オルフィス部門では株式会社阪南ビジネスマシンの西野氏(写真左)、リソグラフ部門では有限会社水野教材社の吉成氏(写真右)が優勝しました。





新興国市場向けデジタル印刷機「RISO CV3230」を新発売

当社は、新興国市場に向けたデジタル印刷機の新機種「RISO CV3230」を発売しました。本年6月よりアフリカ、東南アジア、中国、インドなどを中心に順次販売を開始しています。

「RISO CV3230」は、新興国向けモデルとして初めて液晶ディスプレイを搭載するなど、操作性、基本性能を向上させました。当社は、この新モデルの発売により、新興国市場におけるデジタル印刷機のユーザー層拡大を目指しています。



「RISO CV3230」

シンガポールとトルコに販売子会社設立

当社は本年4月、シンガポール共和国に「RISO (SG) PTE. LTD.」を設立、7月より営業を開始しました。「RISO (SG)」は、同国内において、主力製品「オルフィス」「リソグラフ」のソリューション提案の強化を推進しています。

また、9月にはトルコ共和国に「RISO TURKEY BASKI COZUMLERI A.S.」を設立。平成28年1月より、トルコ市場において印刷機器事業の販売拡大に力を注いでいきます。



来賓の方々約60名に出席いただいた「RISO (SG)」開所式の様子(平成27年7月)

「環境経営報告書2015」を発行

当社は本年7月、「環境経営報告書2015」を発行しました。本報告書は、低炭素社会や循環型社会の実現に向けた事例をはじめ、2014年度に行った取り組みについて幅広く紹介。例年同様に、カラーユニバーサルデザインを取り入れて制作しました。

また、冊子として掲載できなかった情報及び過去から掲載している情報については、当社ホームページの環境経営報告書ページ(<http://www.riso.co.jp/eco/report/>)で提供しています。



「環境経営報告書2015」

台風第18号等による大雨災害への義援金寄付を実施

当社は、本年9月に発生した台風第18号等による大雨災害の影響で被害を受けた方々に対し社会福祉法人茨城県共同募金会を通じて300万円の義援金を寄付いたしました。

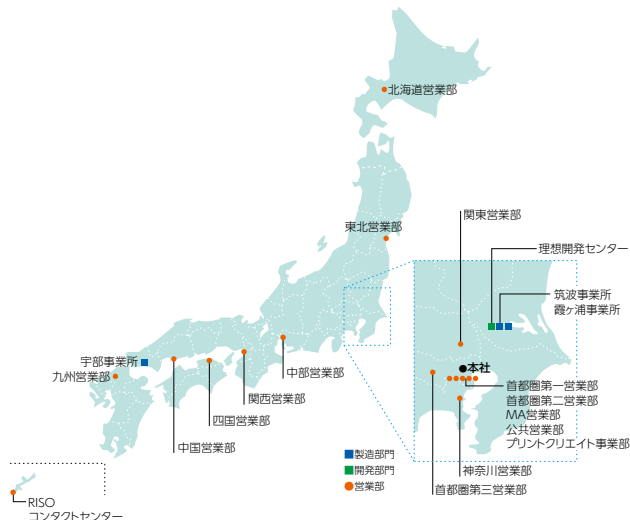


国内

当社の販売ネットワークは14営業部46支店1出張所及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。

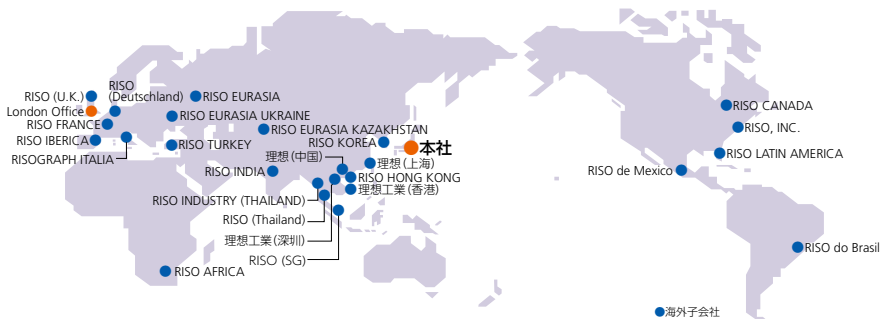
国内3カ所の製造拠点では、オルフィスのハードウェア・インク及びリソグラフのインク・マスターなどを生産しています。

開発部門は茨城県つくば市の「理想開発センター」に集約し、業務効率の向上を図り次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。



海外

当社は26の海外子会社を中心に、オルフィス、リソグラフなどの販売や技術サポート、消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の深圳工場と珠海工場、タイ・アユタヤ県のロジャナ工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,500名以上のスタッフが、様々な国の人たちとのコミュニケーションを大切にし、多くのお客様をサポートしています。



● 海外の主な子会社

- RISO, INC.
- RISO CANADA INC.
- RISO LATIN AMERICA, INC.
- RISO de Mexico, S.A. de C.V.
- RISO do Brasil Ltda.
- RISO (U.K.) LTD.
- RISO (Deutschland) GmbH
- RISO FRANCE S.A.
- RISO IBERICA, S.A.

- RISOGRAPH ITALIA S.p.A.
- RISO EURASIA LLC
- RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC
- RISO EURASIA UKRAINE LLC
- RISO TURKEY BASKI COZUMLERI A.S. (平成27年9月設立)
- RISO AFRICA (PTY) LTD.
- 理想工業(香港)有限公司
- 理想工業(深圳)有限公司

- 理想(中国)科学工業有限公司
- 理想(上海)印刷器材有限公司
- RISO HONG KONG LTD.
- RISO (Thailand) LTD.
- RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.
- RISO INDIA PRIVATE LTD.
- RISO KOREA LTD.
- RISO (SG) PTE. LTD.



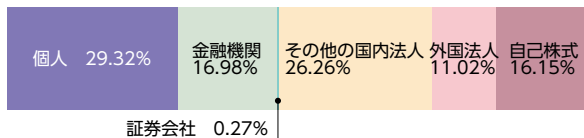
株式の状況 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数 135,680,000株 (前期末比 増減なし)

発行済株式の総数 47,406,332株 (前期末比 増減なし)

株主数 2,464名 (前期末比222名 減少)

株式数比率



大株主一覧(上位10人) 持株数(千株) 持株比率(%)

理想科学工業株式会社	7,654	16.15
有限会社理想社	4,941	10.42
公益財団法人理想教育財団	2,661	5.61
あかつき興産株式会社	1,934	4.08
理想科学工業従業員持株会	1,722	3.63
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 東京都民銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	1,567	3.31
羽山 明	1,216	2.57
羽山 治	1,194	2.52
羽山 尚	1,180	2.49
伊藤 真理子	1,170	2.47

自己株式の取得について

当第2四半期累計期間中に取得した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数 624,000株
取得価格 1,499百万円



会社概要 (平成27年9月30日現在)

商号	理想科学工業株式会社
本社	〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号
創業	昭和21年(1946年)9月2日
会社設立	昭和30年(1955年)1月25日
資本金	14,114,985,384円
従業員数	1,731名(グループ全体 3,562名)
連結子会社	28社(国内2社 海外26社)
役員	代表取締役社長 羽山 明 常務取締役 高橋 靖宏 常務取締役 遠藤喜八郎 取締役 高橋 康信 取締役 池嶋 昭一 取締役 成宮 慶臣 取締役 上田 雅弘 取締役 橋本総一郎 取締役 氏家 直樹 取締役 加野 敏明 取締役 林 享史 取締役 大島 健嗣 取締役 奥 総一郎* 常勤監査役 田澤 康男 監査役 飯塚 良成* 監査役 八田 進二*

(注)*印は会社法第2条第15号及び第16号に定める社外取締役及び社外監査役です。

将来に関する記載等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次業務は三井住友信託銀行株式会社の の全国各支店で行っております。
公告掲載URL	http://www.riso.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告ができない場 合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03-5441-6611

株主インフォメーション

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため当社が開設した特別口座にご所有の株式が記録された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



本株主通信は、環境にやさしい大豆インキと、FSC®認証紙を使用しております。

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>

理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル